

### 事業評価シート【新規事業-1】

事業名	公共施設予約システム事業			基本計画	節	6	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	4		施策の方向	
課係名	総務課総務情報係	内線			施策	2		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	2		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	各公共施設を予約する場合、利用者が当該施設に直接訪問しなくてはならず、市民の利便性低下につながっている。コロナ禍の現状、デジタル化の急激な進展の中で、オンラインで予約することができるシステムの導入を求める声が大きくなっている。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	公共施設予約システムの導入により、市民の不必要な外出及び市民と職員の接触の機会の減少を図るとともに、市民の利便性向上と職員の業務効率化に資することを目的とする。
実現するための課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の予約に関する規則等の改正</li> <li>予約の無断キャンセル等の防止策についての検討</li> </ul>
具体的な取組(解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設予約システムの導入・運用</li> </ul>

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			5年度	6年度	7年度
■ 活動指標	①	施設予約の受付日数	開館日すべてを予約対象とする	200	200	200
	②					
■ 成果指標		オンライン予約率	予約数全体に占めるオンライン予約の割合	10.00%	30.00%	50.00%

実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令計画名	① 茂原市DX推進基本方針	②	
			③	④	
		補正予算要求理由			

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期[ 始期 ~ 終期 ]		内容	システム利用料

事業費の積算(千円)	年度	公共施設予約システム利用料 150,000円×12か月×1.1	事業費	1,980	人工数	事務スケジュール		
						年月	内容	
5年度	5年度		国債		0.06	4.12	実証実験	
			市債		人件費			
			その他		454			
			一般財源	1,980				
	6年度			国債		0.06	5.4	システム導入・運用
				市債		人件費		
				その他		454		
				一般財源	1,980			
	7年度			国債		0.06		
				市債		人件費		
				その他		454		
				一般財源	1,980			

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境や市民ニーズと整合があるか。</li> <li>・市が事業を行うことについて妥当であるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	県内の多くの自治体が公共施設のオンライン予約システムを導入・運用しており、デジタル化の急激な進展及びコロナ禍により市民ニーズも高まっている。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。</li> <li>・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	住民の利便性向上と職員の業務効率化につながる取り組みであり、施策「情報化の推進」に資する。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	24時間・365日オンラインで予約することができるようになり、市民の利便性向上に資するだけでなく、職員も対応時間を取られることなく業務に従事することができるようになるため、コストに見合った成果が期待できる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。</li> <li>・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	各公共施設で個別に委託している予約システムを廃止してオンラインシステムへ一元化することにより、財源を捻出することができる。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	施策「情報化の推進」に資する事業であり実施は妥当である。ただし、実施にあたっては、事業費が既存の予約管理システムに係る経費の総額を上回らないことを条件とする。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	市民が利便性を実感できる事業と判断できるため、担当課の提案どおり事業を実施するものとする。
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性
A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。	